

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：教務機構	担当部局：教務機構
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科) 《全学的な視点》	
中項目	6.3 教育方法	
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。	
要素	教育目標の達成に向けた授業形態(講義・演習・実験等)の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導(院) 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導(専院)	
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。	
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性	
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。	
要素	厳格な成績評価(評価方法・評価基準の明示) 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性	
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。	
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施	

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各教員が研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導を行う。	→指導要領の作成	C	C	C	C	/
2. 授業評価等を実施することによって授業改善への取り組みを推進する。	→学生による授業評価アンケートの回収率、大学院FD部会の開催	C	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	指標に掲げている「指導要領」の作成には至っていない。まずは指導教員・学生の合意のもとに研究指導が行われる必要性を重視し、各研究科に「研究指導計画書」の活用を促している状況。現状半数の研究科ではこれらの取り組みが行われている。
目標2	授業評価の回収率は約90～数10%と研究科においてばらつきがある。回収率を高めるために、①指導教員が直接学生に周知する、②授業開始時あるいは終了後10分程度を利用し実施する、③アンケート提出ボックスの個数を増やす、院生の共同研究室に設置する、など各研究科において工夫がなされている。2012年度は各研究科で実施された学生による授業評価アンケートの結果を受け、各研究科に設置された大学院FD委員会を中心に具体的な教育改善への取組が行われた。また全学的な大学院FD部会を2回開催し、各研究科の大学院FD委員会と連携しFDへの取組を推進した。
備考	